2026 年度東京医科大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)
入学者選抜 第 2 期
外国語試験(英語)　出題の意図

問題 以下の文章を読み後の問いに答えよ

「思春期における睡眠パターンの変化」 についての 100words 程度の文章を提示した。

問 1　300 字以内で要約せよ。20 点

【出題の意図】

文章の概略を理解できる英語力と近年医療で話題となっていることについて幅広い視野で事象をとらえる力を有しているかを確認するために、100words 程度の文章を提示し日本語での要約を求めた。

【解答例】

図 1 は、参加者の就寝時刻および起床時刻の年齢による変化を示している。
思春期（中学生から大学生まで）の間、就寝時刻は年齢とともに直線的に遅くなったのに対し、起床時刻は高校生の年齢までは一定に保たれていた。その結果、この時期（思春期：中学生から大学生まで）の夜間の総睡眠時間は大幅に減少した。その後、大学生の年齢になると起床時刻も年齢とともに遅くなった。

日中の眠気は、1 日にうとうと（居眠り）した回数で測定されたが、年齢とともに増加し、高校生でピークに達した後、大学生の間に徐々に減少した。

成人のサンプルでは、いずれの年代でも、これらの思春期のグループと比べて日中の眠気はかなり低かった。(292 字)

問 2　図 1 より 20 歳の睡眠の特徴を日本語で簡潔に述べよ。10 点

【出題の意図】

図表を読み取り、簡潔に要約できるかを確認する。

【解答例】

- 他の年齢、年代に比べ就寝時間が最も遅い
- 他の年齢、年代に比べ起床時間が最も遅い
- 居眠り（眠気）は各年齢、年代の中で 5 番目に多い